

球磨川通信

球磨川での伐採工事について

八代河川国道事務所では、洪水時に障害の恐れがある樹木の伐採を、球磨川全体を見ながら順次行っています。

現在は、あさぎり町深田において、古町橋から銅山川合流点付近までの伐採に取りかかっています。



立岩の史跡周辺をかつての姿に

現在、伐採に取りかかっているあさぎり町深田には「立岩」と呼ばれる史跡があり、また球磨川の舟運が盛んだった昔、このあたりは川港だったそうです。

伐採するにあたり、昔の写真や地域の方の話を参考にしながら、かつての立岩周辺の風景を目指して進めています。



地域の方の声

以前は周囲から立岩がはっきり見え、上流側は市房山まで見え景観が良かった。

立岩自体に植生している木や草はそのまま残したい。

立岩周辺（古町橋～明廿橋）は伐根と整正まで行い、できるだけキレイに。

伐木は無料で配布します。（堤防の刈草も配布中）

伐木は人が持てる大きさに玉切りし、堤防沿いに仮置きしますので、ご自由にお取り下さい。また堤防の刈草も無料配布中です。

《注意》

- 営利目的に使用しないで下さい。
- 刈草には不純物が混じっている可能性があります。
- 積込作業や引き取り後の使用について、当方では一切の責任を負いません。
- 一度引き取られたものは返却できません。
- 刈草や伐木の配布は無くなり次第終了とさせていただきます。

球磨村渡地区の排水施設（ポンプ）を運用開始しました

球磨村渡地区における浸水被害軽減対策として工事を進めていた、3箇所の「排水施設（ポンプ）」が、9月より全て運用開始となりました。



～工事を行った「丸昭建設株式会社」より～

『現場責任者より』

当工事現場の責任者は、現場代理人（作業所長）は桑原、監理技術者は柳瀬、工事係は大瀬が担当しました。今回、渡地区、今村地区の球磨川出水被害対策工事に関わることができて地元建設業者として光栄です。

球磨川下り、ラフティングなど球磨川観光が盛んな地域であり、堤防の景観に配慮しながらの施工でした。工事期間中は、地域の皆様に暖かい激励をいただき感謝の気持ちでいっぱいです。



球磨川出水時排水ポンプ写真
(平成24年7月)
※丸昭建設が今村地区に出動しました。



東日本大震災での災害派遣要請（平成23年5月）
※水中ポンプを4台稼働しております。



南陵高校環境工学科の現場見学会開催
※現場では地元建設業を担ってほしい生徒に分かり易く説明しました。



あさぎり町上免田川左岸堤防除草ボランティア
※ツクシイバラを守ります。

～工事を行った「株高野組」より～

『現場責任者より』

排水施設工事の責任者でした、株式会社高野組（八代市鏡町）の橋本と村田です。

今年の6月に舟戸地区、9月に渡地区の排水ポンプ整備工事が概ね完了し、工事期間中は近隣住民の皆様方に大変ご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

工事では、近隣の住宅、くま川下り来客者へ、極力、ご迷惑の掛からないよう取り組んでまいりました。一部ではございますが、下記のとおりご紹介させていただきます。



作業中に発生する騒音の低減対策として、防音シートを設置して作業を行いました。



鳥インフルエンザ発生時にウイルス拡散防止の為、現場出入り口に消石灰の散布を実施しました。



定期的に堤防部の除草を行いました。



くま川下り渡舟場をご利用のお客様への配慮として仮設の設置、危険防止の為交通誘導員を配置しました



球磨川通信は、下記の八代河川国道事務所HPで公表しています
八代河川国道事務所HP <http://www.qsr.mlit.go.jp/yatusiro/>